

出藍の誉れ

〈学校の教育目標〉

自主共生

自ら 仲間と共に よりよく

出藍の会を行いました その3

2月6日(火)に出藍の会を行いました。今回は3年生の作文を紹介します。



『自分らしく』 3年1組 細江 咲良
私は1年生から今まで、自分らしさについてよく考えて、悩んでいました。

1年生のときの私は、特にやりたい仕事もなく、成り行きで学校の係についたり、中学から新しくできた友達や先生にもあまり本音で話したりせず、自分が好きなことを言ってしまったら、趣味が合わないと思われて、友達がいなくなってしまうのではないかとネガティブに考えていました。

2年生の前期になると、まわりの友達やクラスメイトが委員長やクラスを大きく動かす仕事について、毎日せわしなく学校や学級のために動いている姿が多くなり、私もこんなふうが目立っている人だったらなと思い、みんなから尊敬されているその人たちを見て、どうしてこうなれないのだろうと考えていました。

2年生の後期、2月後半に入り、クラスで生徒に対して、委員長や生徒会についてのアンケートが配られ、ひょっとしたら委員長や生徒会に入れば、学校のために動くことができ、私のイメージを変えることができるかもしれないと思い、立候補し、無事委員長になることができました。しかし、授業参観の日、知り合いのお母さんから「咲良ちゃん、委員長らしいね。そんなキャラじゃないのにね。」と言われ、傷つきました。やっぱり私は委員長に向いていないのかなと考えこむ時期もありましたが、私が家で活動計画を書いていたとき、母が「前よりも頑張れていると思う。咲良らしくそれなりに頑張れ。」と言ってくれました。もしかしたら私は2年生のときよりも変わってきているのかなとも思えました。



少し変わったことをきっかけに、私は勇気を出して、友達でなくても趣味やそのとき思った感情などを素直に伝えることができるようになりました。友達に「なんかテンション違う。」と言われてたり、誤解されたりしてしまい、悩むこともあるけれど、1年生や2年生のときに比べれば、ずっと学校が楽しくなったし、自分らしく振舞うことが良いことだと思えるようになりました。本当にしたいことをして、自分らしく生きていきたいと思っています。



『なりたい自分』 3年2組 濱田 莉朱
中学3年間、私は「仲間と関わり合いながら成長する」「怠けず、努力をし続ける」ということを意識して、なりたい自分に向けて生活してきました。

私が一番成長したことは行事、取組に対する姿勢です。1年生の頃は自分のやるべきことを終えたり、決められた範囲ができたならそれで満足したりしていました。ですが、その考えが変わりました。そのきっかけは、2年生の文化祭事前取組の給食配膳です。全校1位をめざし、タイムを縮めようとなりました。そのときにともに配膳する仲間と協力し、準備をいち早く行い、効率的に配ったり、話し合い呼びかけをしたりしました。そして1位がとれました。結果を聞いた瞬間、仲間と一緒に喜びました。そこで、仲間の存在の大切さ、関われるうれしさ、感情をともに味わえる喜びを感じました。また、文化祭で仲間と本気で関わりました。特に合唱では、同じパートの人たちとどのように工夫して歌うのか、どんな思いをこめて書かれているなどについて考え、そして声に表現することを頑張りました。仲間と話し合うことで、自分では思いつかないことや、一つの意見を探求でき、さまざまな視点をとらえることができました。そして練習し、主旋律を支え



る役割ができました。日常生活や行事を通して、仲間と関わることで自分自身の成長につながりました。

「怠けず、努力をし続ける」3年間勉強についてもこだわりました。これまで、何度も勉強の計画立てて、実行しようとしていました。ですが、どこかで怠けて思い通りになりませんでした。少しぐらいなら良い、後で終わらせれば間に合うと考え、結局後悔していました。1年生の頃は楽しいから勉強すると思っていたのですが、今はやらなければならないから勉強すると次第に変わっていききました。ある国語の授業で、孔子という人のお言葉に「これを知る者はこれを好む者に如かず、これ好む者はこれを楽しむ者に如かず」ということを学びました。これは物事を理解し知っている者、好んでいる者は、それを心から楽しんでいる人には及ばないという意味です。これを習って、勉強を楽しむことができないのであれば、受験を乗り越えられないと思いました。そこから勉強に対する考えを改め、プラスの気持ちで勉強しようと思いました。仲間とわからないところを考え合ったり、解説を聞いたりし理解でき、プラスになりました。

卒業まであと少し、仲間と関われるのも少しです。1日に感謝して過ごしたいです。



『自分にとって大切な存在』

3年3組 神戸 虹花

「関わる」というものは、自分の中でとても難しいこと。だからこそ私は「関わる」ことを今、とても大切にしています。

1、2年生の前半を振り返ってみると、学習自体楽しんでやっていたという記憶がとても少なかったです。あるとき、学習班で私は発言をした際、スルーされたり、「〇〇違うと思う。」と言われてそこで終わりということがありました。そんなことが続き、MVPで学習班の私だけ選ばれなかったこともあり、自分から「関わる」ことから遠ざかってしまっていました。でも、そんな自分から変わろうと思えた仲間との出会いがありました。

3年生になって、環境が変わったというもの一つではありますが、自分から「関わる」ことがこんなに大事で、楽しいものだとなんか知らせてくれた仲間の存在が増えました。これが変化のきっかけとなった一番の理由であり、「なりたい自分」を見つけ出せた大きなきっかけでもあります。正直、始めの班では、聞きたいことを気軽に聞けなかったです。話がそれたりすることも多かったから。楽しかったけど、真面目には取り組めてませんでした。

た。でもその次の班になったとき、紅愛さんや萌結さん、空弥さんが私の発言に対して「確かに」や「これだよ」と優しい相槌をたくさんしてくれました。この仲間の存在が自分自身の勇気となつたし、仲間との「関わり」を大切にしていって行く上での第一歩ともなりました。

もちろん今の班でも私にとって、大切な仲間がいます。大誠さんや巧磨さんは交流するときに、いつも私を気にかけてくれるし、反応もしてくれます。瑠美さんはいろいろな考えを出してくれて、私の質問にも優しく返してくれます。私の周りには、こんなにも私に真剣に向き合ってくれる仲間がいます。今の班はとても楽しいです。楽しいといっても友達と遊んでいるときの楽しいとは違って、授業を受けていて、交流して楽しいということです。積極的に発言や発表につながられているため、教科全体的に向かう姿勢も改めて考え直して、活動しているところです。

何をしていくにも仲間の存在は自分にとって、何かをやっていくための活力や勇気ともなるのです。今、私は「関わる」ということを大切にしていって行くので、その良さを忘れずにしていくだけでなく、これまでよりレベルアップした行動を考え、実行していきたいと思っています。

「出藍の会」に向けて、これまでの自分を振り返り、頑張ることができた自分を見つめ、それを作文として書き上げてくれました。このように自分を見つめ直すことができたことは、これからも頑張れる自信につながります。「出藍の会」では、そんな作文が数多くあり、本当に素晴らしい会になりました。

